

公益社団法人 日本天文学会 代議員総会議事録

日時： 2017年6月3日（土曜日） 13時00分～16時35分

場所： 日本大学理工学部お茶の水校舎 11階 C1101 会議室（千代田区神田駿河台1-8-14）

出席代議員： 縣、佐藤（勝彦）、杉山、寺澤、土居、松下、嶺重、観山、吉田、青木、大朝、柴田（一成）、須藤、戸谷、林（左絵子）、馬場、望月、渡部（以上18名、委任状13名）

欠席代議員： 犬塚、太田、櫻井、中川、林（正彦）、牧島、百瀬、山田、相川、大向、岡村、奥村、海部、河合、草野、小久保、田村、常田（以上18名）

市川会長、半田副会長、山下庶務理事、柴田・熊谷会計理事、松原監事、佐藤事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務員が出席した。望月副会長は代議員を兼任している。

I. 確認事項など

議事に先立ち、出席代議員が18名、議長委任状が13件、合計31件で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。前回代議員総会（2017年3月16日）の議事録が確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議長：市川 隆

署名人：市川 隆

II. 報告

II-1. 理事会（2017年5月20日）の報告（山下）

2016年度事業報告と決算書、「日本天文学会委員会等に関する細則」改正案が承認され代議員総会へ提出されることが報告された。「日本天文学会天文教育普及賞内規」案、「代議員選挙施行細則」改正案そして委員会オブザーバーの名簿記載について理事会で議論されたことが報告された。2019年秋季年会以降の開催地はまだ立候補がないことが報告された。

II-2. 2016年度監査報告

松原監事から監事監査が5月2日に行われ、資料を基に質問等を行い明瞭な説明が得られるなど、適正に執行されていることを確認したとの報告があった。

II-3. 2016年度早川基金報告（山下）

第93-96期の募集に対し53件の申請があり23件採択し、援助総額が583万円であったことが報告された。採択者に学振研究員が多いとの指摘があり、審査基準について委員会に確認することになった。

II-4. 日本学術会議報告（観山）

第23期は今年9月で改選、観山、須藤両会員とも任期が切れ、新しい会員の推薦を行っている。連携会員についても推薦を行っている。9月末までには新しい会員が発表される。

分科会としては日本天文学会と協力して大学に於ける天文学分野のポスト分布、年齢分布、学生分布などの、キャリアパスの実態調査を定期的に行うことの提案があった。日本天文学会会員の情報を集めるシステムを作ると継続的に情報を集めることができると思われるが、ただ個人情報として問題があるかはWGなどで検討する必要があるとの指摘があった。会員の情報更新を自分

で行う web ページ (マイページ) を作ることを次期理事会で検討していく予定とのことで、その情報を会員の了解を取って利用する可能性も考えられる。

II-5. IAU 報告 (観山)

IAU 創設 100 年記念について、日本学術会議と日本天文学会共同で学術的ワークショップが出来ないかとの提案があり、日本天文学会に協力するよう理事会に要請があった。

II-6. 学会ウェブリニューアルの進捗報告 (今期 3 回目) (望月)

ウェブ上の「学会概要」の全面改訂を含め、広報担当副会長 (望月) がウェブ担当になってから 1 年半あまりでなされた 21 項目のコンテンツ更新等が報告された。又、今期の終了にあたり、計算機担当職員を雇用し事務所のウェブ運用体制を刷新したこと、学会ウェブリニューアルの担当を広報担当副会長から新設の広報担当理事 (望月) に移し、今後はネットワーク委員会を中心に 2017 年度-2018 年度理事会期に進めていく体制について報告があった。

II-7. インターネット版天文用語辞典について

岡村代議員から「インターネット版天文用語辞典」について報告があった (山下庶務理事代理報告)。作成は補助金で行われるが、作成後もサーバー維持費等が必要となるため日本天文学会の事業として進めたいとの提案があった。意見交換が行われ、次期理事会で検討し代議員総会で事業計画として認めてもらう方向で進めること、また、委員会化も検討することになった。

II-8. 天文遺産顕彰検討 WG と天文教育普及顕彰 WG の報告 (半田)

日本天文遺産選考委員会の発足に伴い、天文遺産顕彰検討 WG は解散、次期理事会で委員を決める。

III 議題

III-1. 公益社団法人日本天文学会 2016 年度事業報告書の承認 (山下)

2016 年度の事業内容が説明され、“今後は、外部の各賞・研究助成等への推薦について、学会からの推薦数だけではなく、そのうち採択された実績も掲載すると良い”などの意見が出されたのち、全会一致で承認された。

III-2. 公益社団法人日本天文学会 2016 年度決算書の承認 (柴田(克))

2016 年度の決算の内容が説明された。今年度は 337 万円の黒字となり、予算と大きな差がある内容について、及び研究奨励賞と早川幸男基金に合計 461 万円の寄付があったことが説明された後、全会一致で承認された。

III-3. 「代議員選挙施行細則」の改正 (市川)

前回の代議員総会で承認されなかった細則改正案が再度提案された。改正案の説明の後、全会一致で承認された。また、選挙管理委員会副委員長に戸谷代議員が推薦され、全員一致で承認された。また、“理事選出期”という文言の解釈に不定性が残ることから、この明確化を今後の課題とすることとなった。なお、“理事選出期”は他の細則にも使われている。

III-4. 「日本天文学会委員会等に関する細則」改正案 (半田)

日本天文学会天文教育普及賞選考委員会を設置するための第 3 条改正案と、参考資料として選考委員会内規案が提出され議論が行われた。どういう趣旨の賞となるのかのイメージを代議員と共有して欲しい、プロとしての普及活動の扱いをどうするのか等の議論があり、今回示された内規案だけでなく、設置を求めた代議員による賞の趣旨を示す文書、さらには、検討 WG で議論され

た申し送り事項も加えて、再度代議員総会で審議することになった。

III-5. 会員の除名について（渡部）

会員の除名について提案があり、審議が行われた。その結果、「日本天文学会委員会等に関する細則」の第4条に基づき理事会にて調査委員会を設置することになった。その調査委員会の結果をもとになるべく早期に代議員総会を開き再度審議することになった。

III-6. 2017/2018 年度の理事及び監事の選任について

2017年1月8日開催の代議員総会において承認された理事および監事候補者について、投票により全出席者の賛成が得られ、候補者全員を選任することが承認された。選任された理事及び監事は以下の通り。

理事	柴田 一成	理事	大山 政光
理事	林 左絵子	理事	寺田 幸功
理事	土居 守	理事	望月 優子
理事	山下 卓也	理事	徂徠 和夫
理事	伊王野 大介	理事	花輪 知幸
理事	柴田 克典	理事	伊藤 洋一
理事	早野 裕	理事	春日 隆
理事	嶋作 一大	監事	立松 健一
理事	小宮山 裕	監事	田中 培生

III-7. その他

「学術会議が声明を出した安全保障と学術に関する問題」

須藤代議員から説明があり、意見交換が行われた。問題意識を維持していくために、天文月報の特集記事や年会時のフォーラムなどで定期的に取り上げるのが良い等の意見が出され、次期理事会で検討していくことになった。

2017年6月3日

議長・署名人： 市川 隆 印